

# 報告書

作成者：MORE 企画 白井ゆみ

作成日：2024/12/20

## 1 プロジェクトの概要

タイトル	海と日本☆伊豆半島の海ゴミ一掃プロジェクト@下田
実施目的	主な目的は、【生態系の保護】【環境保全】【公共の利益の向上】【社会的責任の履行】の4点です。海中のゴミを放置しておく、そこに住む海洋生物に危害を及ぼし、ひいては海の生態系に悪影響を及ぼします。また、海岸に流れ着いたり水面に浮かんでいたりすることで景観も損ないます。水中清掃を行うことで、海の魅力をさらに高め、生態系を保護し、社会貢献活動として街全体の価値をあげることに繋がります。

## 2.プロジェクトの詳細

内容背景	今回、清掃場所となるのは下田市の下田港。下田市を代表する下田港では、これまで水中清掃は実施したことがなかった（他の地区の多くの港と同様）同年10月上旬、伊東漁協の支所長とMORE企画、組合長、下田市と話をし開催が決定した。
概要	【日時】2024年12月17日（火）9時～15時（下見潜水12月10日（火）4名） 【場所】静岡県静岡県下田市外ヶ岡1-1（下田漁港） 【主催】MORE企画（代表：白井） 【協力】MORE企画、伊豆漁業協同組合、伊豆下田マリンセンター、下田市観光協会、下田市、下田土木事務所、河津建設、下田海中水族館、Marine Sweeper、下田船主会
施設	駐車場、トイレ、水は漁港で借りる。休憩用のテーブル、椅子は観光協会から借りる。
メディア	東京新聞、伊豆新聞、伊豆下田経済新聞、下田有線テレビ放送、KTV-12ch 小林テレビ設備
協賛金	日本財団、有限会社オーライフ様、Café DEN（下田のカフェ）、Shimoda one café（下田駅前のカフェ）、下田ダイバーズ
協賛品	コーヒー：ハナをつむじ様（河津にある自然派ショップ） お菓子：ホドホド様（河津でカフェや宿を展開） ランチのカレー：カマヤ様（下田のお惣菜屋さん、元は北川で出店） ランチのお米：寿しらば三〇二様（下田の了仙寺駐車場で新規オープンの立ち食い寿司） お土産の干物：小木曾商店様（明治33年創業の干物屋さん） お土産のバーガー：下田バーガー様（道の駅内にあるキンメバーガーで有名なお店） トートバッグ：下田東急ホテル
保険	あいおいニッセイ同和損害保険（傷害：潜水作業あり、潜水作業無し両方）
使用道具	水中道具：ロープ、リフトバッグ、ゴミ袋、メッシュバッグ、ナイフ、グローブ 陸上道具：軍手、長靴、替えロープ、ホース、器材洗い場

チーム分け	<p>水中班 (9名) : 3名1チーム (水面1、水中2) ×3チーム</p> <p>撮影班 (1名) : Marine Sweeper 1名</p> <p>船上班 (2名) : 伊豆下田マリンセンター、下田船主会</p> <p>陸班 (20名) : MORE企画、漁協、観光協会、下田市、下田海中水族館、他ボランティア数名</p> <p>メディア (6名) : テレビ3社、新聞3社</p>
傷害保険対象者	<p>【水中】 三矢 信吾 (城ヶ崎潜水)、松崎 剛 (mieux)、佐野 健太郎 (イエローフィン)</p> <p>苅部 徹 (キープスマイリング)、満園 英雄 (下田ダイバーズ)</p> <p>イワヤンデアプラタセナ (下田ダイバーズ)、柏木美穂 (下田ダイバーズ)</p> <p>一政 直美 (リーフレイダーズ)、村田清臣 (リーフレイダーズ)、土井佑太 (Marine Sweeper)</p> <p>【陸】 下元淳詩、半田信一、小泉浩、土屋銀河 (下田ダイバーズ)、北條美苗子 (シーフロント城ヶ崎)、勝田南央、大石彩夏、白井ゆみ</p>
安全管理	<p>(1) 事故発生時には下田港の「事故発生時の連絡網」に従って対応する。</p> <p>海上保安庁 : 118 消防 : 119 警察 : 110</p> <p>近隣の病院、軽症の場合、重症の場合 : 下田港の事故発生時の連絡網に従う</p> <p>(2) 水中・水面のダイバーと船舶の接触を最も避けなければいけないので、1チーム毎に水面での安全管理ダイバーが水面で国際信号旗 A 旗を取り付けたフロートかブイを保持して、その下をダイバーが潜るようにする</p> <p>(3) ゴミの受け渡しは、航路の邪魔にならない位置で漁船 (釣り船) を停泊させゴミを乗せていく。船上にも人員を配置し、引き上げを行う。ダイバーは、岸壁からエントリーし、船でエキジットする。または、岸壁沿いのラダーを使用して上がる。</p> <p>※安全潜水とボランティア依頼に関する覚書の取り交わしを行う</p>
ゴミの処理	下田市環境対策課が無償で引き取り
行程	<p>09:00 下田漁港集合</p> <p>09:15 ブリーフィング時間 (挨拶、自己紹介、作業内容、安全説明)</p> <p>09:30 準備とチームごとに1本目エントリー (岸壁からジャイアント、大型を中心に回収)</p> <p>10:30 1本目終了 (船を利用してエキジット)、外で休憩</p> <p>11:30 2本目エントリー (引き続き大型のゴミを回収)</p> <p>12:30 2本目終了 (船を利用してエキジット)、片付け</p> <p>13:00 漁協施設の2階で昼食 (ドライエリア)</p> <p>14:00 終了の挨拶、謝礼金お支払い (領収書必要)、お土産お渡し解散</p>

### 3.実施実績

量	1,000 kg以上
内容	タイヤ、自転車、ワイヤー、鉄パイプ、ホース、網、空き缶、空き瓶、毛布、ロープ、漁網、ルーアー、鉄の塊、ベビーカー、カート
詳細	<p>水深 : 平均 3.5m (最浅 3m海見て右、最深 5m海見て左の栈橋側)</p> <p>水温と透明度 : 水温 19 度、透視度 1m~2m</p> <p>作業上の注意点 : ヘドロのため巻き上げ注意 (埋もれているゴミ多くあり)、ロスト</p>

#### 4.実施の様子と内容

流れ	集合	<p>09:00-09:30 参加者全員集合・挨拶・説明・同意書サイン</p>  
	準備	<p>09:30-09:45 器材セッティング・手順最終確認</p>  
入水		<p>09:45-10:00 岸壁からチームごとジャイアントでエントリー（3チーム分け） 赤枠のエリアをメインに、市場を背にして幅 100m ほどの範囲を清掃。</p>   



1 本目

10:00-10:45

- ・ ロープの先端にアンクルウエイトを結びつけて海底に沈めておく
- ・ 水中でアンクルウエイトを外して、ゴミに結び付ける
- ・ 合図をしたら、陸から人力 or フォークリフトで持ち上げる



休憩

10:45-11:30

一本目終了後、潮を洗い流して休憩。

コーヒー：ハナをつむじ様（河津にある自然派ショップ）

お菓子：ホドホド様（河津でカフェや宿を展開）

MORE 企画：お茶、水、洗えるコップ、皿を用意（ゴミはゼロに）

※参加者へは、事前に水筒の持参もお願いしておいた。また、見学者からの差し入れに関しても、スーパーで買った物やペットボトルの飲み物などは、ご遠慮いただくよう事前に告知した。





2本目

11:30-12:30

1本目と同様。

岸壁からチームごとジャイアントでエントリー（3チーム分け）

当初は、2本目は細かいゴミを回収する予定だったが、ヘドロにより大型のゴミの回収が思うように進まず2本目も引き続き大型ゴミの回収をすることにした。



終了  
昼食

12:30-14:00

片付け、集合写真、協賛品のお渡し、感想の発表、解散

カマヤ様、寿しらば三〇二様、小木曾商店様、下田バーガー様、下田東急ホテル様



5. 収支 ※下記金額は、すべて MORE 企画の負担とする。

	内容	金額	仕入れ先/支払い先
収入	協賛金	25,000 円	協賛店・協賛企業・個人
支出	下見費用	10,000 円	交通費・シリンダー
	謝礼金 (20,000×9)	180,000 円	水中ボランティア
	監視船費用	20,000 円	協賛価格
	シリンダー代	29,700 円	協賛価格
	スタッフ経費	30,000 円	交通費・打ち合わせ
	合計	269,700 円	

※謝礼金に委託先への交通費も含む（謝礼金受け渡し時には受領確認が必須）

6. その他

<p>見学者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、初の試みで見学フリーにし開放し 10 名ほど見学に来て写真を SNS にあげてくれた</li> <li>・怪我のリスクもあるが、見学者がいることを事前にアナウンスしたため問題は起きなかった</li> <li>・下田市長の訪問もあり、開放したこと自体が成功だったと言える</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="331 920 746 1469"> </div> <div data-bbox="772 920 1187 1469"> <p style="text-align: center;">松木下田市長</p> </div> </div>
<p>感想と次回 へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水中よりも陸の方が力を使うため、今回ほどいるのは心強い（陸 20 名ほど）</li> <li>・ヘドロがひどくひとつ持ち上げると何も見えなくなり、ロープを結び付けるのも手探りだったため、思うように進まなかった。改善はゴミを少しずつでも回収して綺麗にすること</li> <li>・もっと拾いたかった（ヘドロや道具の関係で、スムーズにできず心残りがある）</li> <li>・協賛品がとにかく嬉しい（応援の気持ちごと届くのでやる気になる）</li> <li>・今回スムーズにいったのは、初回の打ち合わせに関係者が多く参加できたことが要因</li> <li>・これだけ多くの団体や関係者が協力するのは、理想的でモデルケースとなる</li> <li>・少しでも皆に協力をしてもらえて非常に良かった（見学も含めて）</li> </ul>
<p>各種申請・ 許可・人員</p>	<p>2024/10/9：下田漁協にて関係者顔合わせ&amp;日程調整（下田支所長津曲さん、組合長加藤さん、下田市役所小澤さん、伊豆下田マリンセンター飯田さん、下田市観光協会進士さんなど）</p> <p>海保：下見&amp;本番の日程と範囲の共有と許可、下田土木事務所：一時使用許可書</p> <p>下見：2024/12/10（白井、大石、苅部が潜水）</p>